

- 菜の花まつり／金次郎のふる里を守る会
- 花いっぱい運動／育成会・小中学校
- 卒業式

地域交流 環境保護

たのしみ

## 菜の花まつり

by 金次郎のふる里を守る会

イベントを通じて県・市民・地域の住民交流を促し、活性化を図る



地主の方の協力を得て、田植え前の田んぼで菜の花を育て、菜の花祭りを開催しています。当日は菜の花摘み（無料）、餅つき大会、地場農産物の直売、音楽の演奏会などを行っています。多くの地域の方に来場していただき、この里地里山の春を感じていただきたいと思います。

●時期▶3月中旬 ●場所▶尊徳記念館付近 ●主催▶金次郎のふる里を守る会 ●協力▶小田急電鉄

地域交流 子どもの成長

支える

## 花いっぱい運動

by 育成会・小中学校

身近なところに花を植え、明るく住みやすい心豊かな地域に



6月、10月、3月の年3回、多くの小・中学生、保護者、育成会のメンバーが協力して、小学校や保育園、公民館や交番のプランターに花を植えています。花を植えながら、地域の方や先輩・後輩で相談する姿も見られます。平成30年度は城北工業高校の生徒さんが作ってくれたプランターにも花を植えることが出来ました。

おすすめ!!

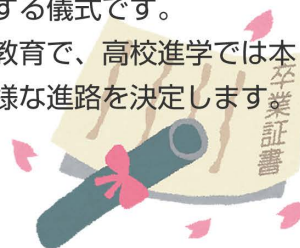
どなたもお気軽に参加してください。私たちと一緒に桜井地区を花いっぱいのまちにしませんか!!

今昔

## 小学校の卒業式

保護者や地域の方に見守られながら、過ごしてきた学校生活に別れを告げ、新たな生活に向かって旅立ちをする儀式です。

中学校までは義務教育で、高校進学では本人の希望に合った多様な進路を決定します



- ◆卒業式には在校生の送辞、卒業生の答辞があって、校長先生から卒業証書をいただき、各学年成績優秀なものに優等賞、1日も休まない者に皆勤賞が授与された。
- ◆当時は小学校までが義務教育であったので、卒業後、中学校・女学校（今の高等学校）に進学する者は5~6人程度で、大部分は家事の手伝いまたは奉公に出されたものである。

## 尊徳学習

せきしょうだい

積小為大 — 小さなことからコツコツと

ばんしょうぐとく

万象具徳 — どんなものにもよさがある

小田原市では25校の小学校4年生が、郷土の偉人「二宮尊徳先生」について学習をしています。2月に各校のさまざまな工夫のある展示物が「成果の報告」として市役所2階のロビーに展示されます。

桜井・報徳小の4年生もこの尊徳学習に積極的に取り組んでいます。以下は平成30年度の主な取り組み内容です。

- 尊徳記念館の見学 ●尊徳記念館ボランティア解説員の川瀬様を学校にお招きし、二宮尊徳についてのお話をいただいた ●春に菜の花の収穫をしてその菜種から油を搾り、灯をともし体験学習 ●金次郎についての調べ学習 ●石けん作り、料理、わらじ作り、大豆の栽培



推薦  
分度  
余力を自分の将来や社会のために譲り合うこと

分度  
自分が置かれた状況や立場をわきまえて生活をする



イラスト：城北工業高校 デザイン科 卒業生

勤勞  
自分にできる仕事で社会に貢献すること

至誠  
うそ、偽りのない真心

## 3/3 桃の節句

3月3日はひな祭りといわず、単に3月の節句といった。東栢山80軒のうち、女の子の初節句に段付きのひな段を飾る家はほんのわずかで、多くは内裏様を飾る程度で、ひな人形や羽子板など祝ってくれた嫁の実家や仲人さんを招いてお祝いの馳走をする華やかさは全くなく、すこぶる質素な行事であった。

## 3/23 春(秋)のお彼岸

中日をはさんで前後7日間、春は3月、秋は9月の2回をお彼岸と称し、祖先を敬う慣例として、「入りをぼた餅」に「あけ団子」の中の日「小豆飯」を作り、重箱につめて菩提寺に届け、彼岸中に必ず祖先の墓参りをしたものである。当時は貧富にかかわらず祖先を敬う義理堅さがあった。

今は春分の日、秋分の日が暦の上で昼夜時間が同じ日で、学校も会社も休日、陽気はよし、家族レジャーが盛んで、宗教のお彼岸の精神が毎年失われていくようである。